

帝キネ 現代映畫

脚色者 笹尾純一郎  
監督者 深川ひさし  
撮影者 立花幹也

主要役割

貧しい姉お美代 歌川八重子  
 弟吉田潔 藤井千枝子  
 病める母君代 園千枝子  
 富豪金井善造 小島洋々  
 夫人秋子 尾崎静子  
 息靜夫 嵐狂童  
 女中お花 歌美陽子  
 小使谷新介 玉城定之助  
 解説—深川ひさし氏の「譽れの警官」に次ぐ  
 作品である。  
 略筋—明日は楽しい天長節であるけれど潔に  
 ば着て行くべき洋服も袴もなかつた。父なく母  
 病む彼の家は只一人の姉お美代の手に依つて貧  
 しくも支へられてゐた。潔は富裕な家庭にはぐ  
 くまれてゐる友靜夫が羨ましかつた。お美代は

寫眞 「天の恵」—帝キネ深川ひさし作品。  
右より藤井實と歌川八重子。



弟に肩身の狭い思ひをさせまいと己が衣類を金  
 にかへて袴をさのへんとしたがそれと知つた  
 潔はいちしくも姉に心配をかけと止め詫び  
 るのだつた。哀れな姉弟が涙の多い一夜明け  
 た併し思ひがけなくも潔のために羽織袴が彼等  
 の家に入られてあつた。やがて潔は天の恵を喜  
 びつゝ靜夫と共に嬉々として學校へ赴いた。見  
 送るお美代の瞳には靜夫に對する感謝の涙が光  
 つてゐた。